第15講　【地誌編】東南アジア，南アジア

PART 2 東南アジアの農業，工業

Chapter 1　東南アジアの農業

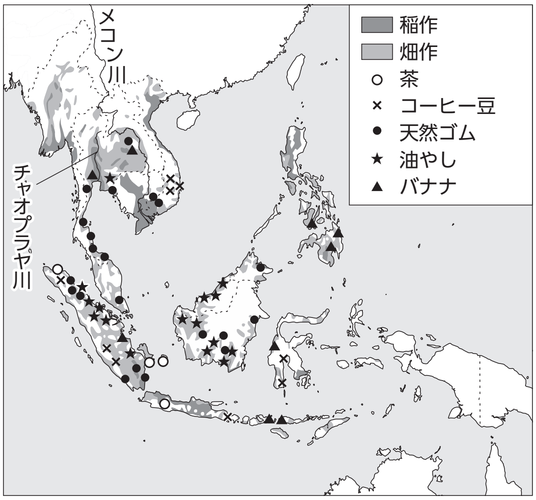
目標　東南アジアの稲作の特徴を理解しよう。
マレーシアのプランテーション作物の変化について理解しよう。

1　多雨を活かした稲作

・東南アジアの広い範囲は高温で降水量にも恵まれるため，**集約的**〔　　　　〕**農業**が盛ん。

・**大陸部**（**タイ**や**ベトナム**）では〔　　　　　　　　〕などの巨大な河川が形成した，広大な**沖積平野**に**水田**が拓かれる。

・ジャワ島など**島嶼部**では，土地を効率的に活用する〔　　　　〕が見られる。



東南アジアの農業地域

＜東南アジアの稲作の特徴＞

農業の目的	・基本的には**自給的**な性格が強いが，〔　　　　〕やベトナムでは輸出を目的とした**商業的**な稲作が行われている。
土地生産性	・東アジア（日本・中国）に比べ，全体的な**土地生産性**は**低い**。 ・**タイやベトナム**では，1960年代より，「〔　　　　　　　　〕」と呼ばれる農業改革が行われ，収穫量が増加した。 →乾季のある地域では従来〔　　　　　〕ができなかったが，**灌漑**技術の向上により可能となった。**土地生産性の向上**。
	・**島嶼部**（ジャワ島など）では**棚田**によって，土地が効率的に使用される。 ・一年中多雨であるため**二期作**や**三期作**が可能であり，土地生産性が**高い**。
労働生産性	・零細的な**家族経営**が多く，農業就業人口割合は高い。 ・機械化が進まないため，労働生産性は**低い**。

2　プランテーション農業による商品作物の栽培

・19 世紀以降，東南アジアは大部分が欧米諸国の植民地となった。

→宗主国により，**商品作物を単一栽培**する大農園が多くつくられ，

〔　　　　　　　　　　　　　〕**農業**が始められた。

＜現代の東南アジアのプランテーション農業＞

国	プランテーション作物など
マレーシア	・19世紀，**イギリス**により〔　　　　　　　〕のプランテーションが拓かれた。 →収穫に労働力が多く必要とされ，**中国**や**インド**から多くの人口が移住。 ・独立後は，**国営**や**マレー系住民**による経営となった。 ・現在は，**パーム油**の原料で，より収益性の高い〔　　　　　　〕へと植え替えが進む。
フィリピン	・〔　　　　　　〕の栽培。 ・**日本**や**アメリカ合衆国**の企業が農園を拓き，収穫物は輸出される。
ベトナム	・〔　　　　　　　　　〕の生産が拡大。 ・社会主義国だが**市場経済**を導入し，農民の**生産意欲**が向上。
インドネシア	・〔　　〕・**カカオ**・**コーヒー豆**などのプランテーションが拓かれ，収穫量が多い。

3　東南アジアの農業と環境問題

・パーム油は，食用油・**バイオ燃料**として現在世界中で需要が拡大している。

→インドネシアでは，油やし農園の拡大が行われ，森林伐採などの環境問題も発生している。

→特に**カリマンタン島**では油やし農園を拓くために，〔　　　　　　〕が広く伐採されている。

・**ベトナム**や**インドネシア**では，**エビ**の養殖池の拡大により

〔　　　　　　　　　　　　　〕が減少している。

まとめ

自給的な稲作が主であり，一般に労働生産性が低い。タイなど一部では，商業的な稲作も見られる。

植民地時代は天然ゴムを栽培していたが，独立後は油やしへの転換が進んだ。

Chapter 2　東南アジアの工業

目標
東南アジアの工業化の特徴を理解しよう。
タイやマレーシアの工業化の背景を理解しよう。

1　東南アジアの工業化

・第二次世界大戦後に独立を果たした東南アジアの国々は，**工業化政策**を開始。
→人口規模が小さく国内市場が限られるため，〔　　　　　　　　〕**型工業**の育成に注力。
→〔　　　　　　　　　　〕を設置し，外資を積極的に呼び込んだ。
・工業化はまず〔　　　　　　　　　　　　〕が先行し，1980 年代には**マレーシア**・〔　　　　〕の工業化が進展。2000 年代には**フィリピン**や**インドネシア**が続き，近年では，紛争や社会主義政策などにより発展が後れていた**ベトナム・ラオス・カンボジア**で工業化が進展している。

2　各国の工業化

1. シンガポールの工業化

・1960 年代から**ジュロン工業団地**がつくられ，**石油化学工業**などが発展。
・独立後，**工業地域**とともに**港湾**も整備し，**貿易**の拠点を整える。
→〔　　　　　　　　〕**港**として，いち早く工業化に成功。
→ 1980 年代には〔　　　　　　　　　　　　〕の一つに数えられるようになる。
・近年は脱工業化が進み，**研究開発**の拠点や**金融センター**が立ち並ぶ。

2. マレーシアとタイの工業化
・〔　　　　　　　　　　〕が設けられ，外国企業の進出が開始。
・**安価で豊富な労働力**を求め, 日本などから〔　　　　　　　　〕**型工業**の工場が進出した。

＜マレーシア＞

・1980年代に〔　　　　　　　　　　〕**政策**を提唱。
→**日本や韓国**の経済発展に倣って工業化を目指す政策。

・1980年代後半より多くの**電機機械工場**が進出。**サイバージャヤ**に研究所や企業が集積するなど，**先端技術産業**の発達も見られる。

＜タイ＞

・日本など先進国の〔　　　　　〕**工場**が多数進出。

・**AFTA（ASEAN自由貿易地域）**発効に伴い，ASEAN域内での部品のやり取りなど，分業体制が構築された。

・雨季にはたびたび**洪水**が起こり，工場が稼働できないことも。

3. ベトナムの工業化

・ベトナム戦争後，**社会主義**政権下での生産活動。
→経済成長が鈍かったため，1986年に**市場経済化**を推進する〔　　　　　〕**政策**を開始。

・経済レベルが低く安価な労働力が豊富なため，特に**衣類工業**などの〔　　　　　〕**型工業**の進出が進む。

まとめ
人口規模が小さく国内市場が限られるため，輸出指向型の工業が中心となる。
輸出加工区が設けられたことで，外国の労働集約型工業の工場が進出した。

第15講 PART2 確認問題

1 東南アジアの稲作について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 東南アジアは高温で降水量にも恵まれるため，集約的稲作農業が盛んである。
② 大陸部の乾季のある地域では，収穫が年に一度に限られる。
③ ジャワ島などでは，傾斜地に棚田が拓かれ，稲作が行われている。
④ タイやベトナムでは緑の革命と呼ばれる農業改革が行われ，収穫量が増加した。

2 輸出を目的とした商業的な稲作が行われている国はどこか。

① タイ　② フィリピン
③ マレーシア　④ ミャンマー

3 プランテーション農業による商品作物の栽培について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 現在インドネシアでは，茶・カカオ・コーヒー豆などのプランテーションが拓かれている。
② 現在フィリピンでは，日本やアメリカ合衆国の企業によって，バナナ農園が拓かれている。
③ 現在ベトナムでは，市場経済が導入され，カカオの生産が拡大している。
④ 現在マレーシアでは，天然ゴムから油やしへの植え替えが進む。

4 油やし農園の拡大により，熱帯林の伐採が特に深刻なインドネシアの島はどこか。

① バリ島　② カリマンタン島
③ ジャワ島　④ ルソン島

5 東南アジア諸国において，いち早く工業化に成功した国はどこか。

① インドネシア　② シンガポール
③ タイ　④ マレーシア

6 シンガポールの工業化について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 1960 年代からマサン工業地域がつくられ，石油化学工業などが発展した。
② 独立後に工業地域とともに貿易港を整備したことで，中継貿易が発達した。
③ 1980 年代にはアジア NIEs の一つに数えられるようになった。
④ 近年は脱工業化が進み，研究開発の拠点や金融センターが林立する。

7 マレーシアとタイの工業化について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 1980 年代より安価で豊富な労働力を求め，日本などから両国へ労働集約型工業の生産拠点が移動した。
② 現在のマレーシアでは，サイバージャヤに重化学工業の立地が見られる。
③ タイでは AFTA 発効に伴い，組み立て工場など自動車工業が集積するようになった。
④ タイでは雨季の洪水により，工場が稼働できないことがある。

8 ベトナムにおいて市場経済化を目的として 1986 年に導入された政策の名称はどれか。

① ドイモイ　② トランスミグラシ
③ ブミプトラ　④ ルックイースト

第 15 講　PART 2　確認問題　解答

1 解答：②　東南アジアの乾季がある地域では，かつては米の**二期作**ができなかったが，近年は灌漑技術の発達で**可能となった**。

2 解答：①　**タイ**では，チャオプラヤ川流域に広大な稲作地帯が広がり，米の輸出が行われている。

3 解答：③　1986 年のドイモイ政策により市場経済を導入した**ベトナム**では，農業の生産性が飛躍的に向上し，現在，**コーヒー豆**の生産量はブラジルに次いで世界第 2 位である（2018 年）。

4 解答：②　インドネシアでは換金率の高いパーム油の生産のため，油やし農園の拡大が行われている。特に**カリマンタン島**では油やし農園を拓くために，多くの熱帯林が伐採されている。

5 解答：②　1960 年代後半に工業が発達した**シンガポール**は，東南アジアでいち早く工業化した。

6 解答：①　シンガポールでは 1960 年代より**ジュロン工業団地**がつくられ，石油化学工業が発展した。

7 解答：②　マレーシアのサイバージャヤは，**先端技術産業**の拠点となっている。

8 解答：①　**ドイモイ**は，社会主義国のベトナムにおいて市場経済化を目的として 1986 年に導入された政策である。